

資料提供
広報取材依頼

情報提供日	令和6年6月18日
問い合わせ先	松代・鬼村鉱山等調査研究協議会 事務局 縄江 博紀 090-4653-6361

「松代鉱山・鬼村鉱山とその関連遺構（トロッコ軌道・静間駅・和江港）」に関する学習会（第3回）を開催します

第3回は、静間駅開業の秘密、静間駅が日本の近代化・高度成長に果たした役割

について学習します！！

1. 行 事 名	松代・鬼村鉱山とその関連遺構（トロッコ軌道、静間駅、和江港）に関する学習会
2. 目 的	住民や当時の鉱山関係者等の協力を得て、松代・鬼村鉱山およびその関連遺構に関する詳細な調査研究を行うこと
3. 開催（実施）期間	令和6年7月27日（土）
4. 開催（実施）時間	午後7時00分～8時30分
5. 開催（実施）場所	静間まちづくりセンター（大田市静間町430-1）
6. 主 催	松代・鬼村鉱山等調査研究協議会
7. 協 力	大田市・大田市教育委員会 久利町・大屋町・静間町・長久町自治協議会
8. 参加・入場者数	100名
9. 行事の内容	（全体の概要、特徴的なものなど） ・ 明治期～昭和40年代にかけて、松代鉱山（久利町）と鬼村鉱山（大屋町）は国内有数の石膏鉱山でした。近年の文献調査により、両鉱山で産出された石膏がセメントの原材料として全国のセメントメーカーに納入され、日本の近代化や高度成長を支えたことがわかってきました。 ・ 市と地元自治協議会では、本年度より本格的な調査・研究のための標記の協議会を立ち上げて、調査研究を進めています。 ・ 第1回、第2回学習会には、市内外より100名あまりの参加があり、鉱山関係者や地元住民から貴重な情報が寄せられました。 ・ このたびの第3回学習会では、本会アドバイザーである中村唯史さん（三瓶自然館学芸員）、阿部志朗さん（島根地理学会副会長／県立大田高等学校長）を講師に、静間駅の開業の経緯とその役割について学習します。 ・ 静間駅は、石膏の積み出しのため1926年9月16日に新設開業。2026年に、開業100年を迎えます。 ・ 事前の広報および当日の取材をよろしくお願いします。
10. その他	・ 取材いただける場合は、事前にお知らせください。

日本の近代化・高度成長を支えた駅

静間駅 学習会

静間駅は、かつて松代・鬼村鉱山の石膏を全国に送り出した県内4位の貨物駅でした。静間駅から旅立った石膏は、おもに山口県や北九州に運ばれ、セメントに姿を変えて国内の発展を支えました。

1926年9月の開業からもうすぐ100年！！みなさんの静間駅の思い出や記憶をお聞かせください。（写真や資料があれば、ぜひお持ちください）



三瓶自然館サヒメル

中村 唯史 さん

島根地理学会副会長

県立大田高等学校 校長

阿部 志朗 さん

主催 松代・鬼村鉱山調査研究協議会

とき 7月27日(土) 19:00～20:30

ところ 静間まちづくりセンター

入場無料

【問い合わせ先】

静間まちづくりセンター

電話 0854-84-8122

静間駅学習会申し込み

